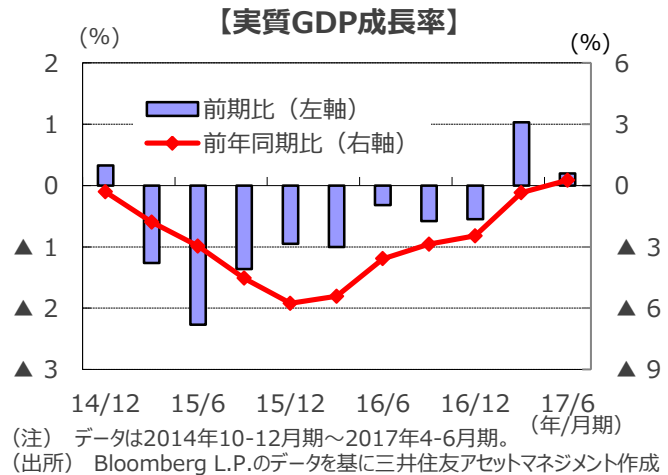


今日のトピック ブラジルの経済・市場動向 (2017年9月)

景気は緩やかな回復、株式、通貨は堅調推移

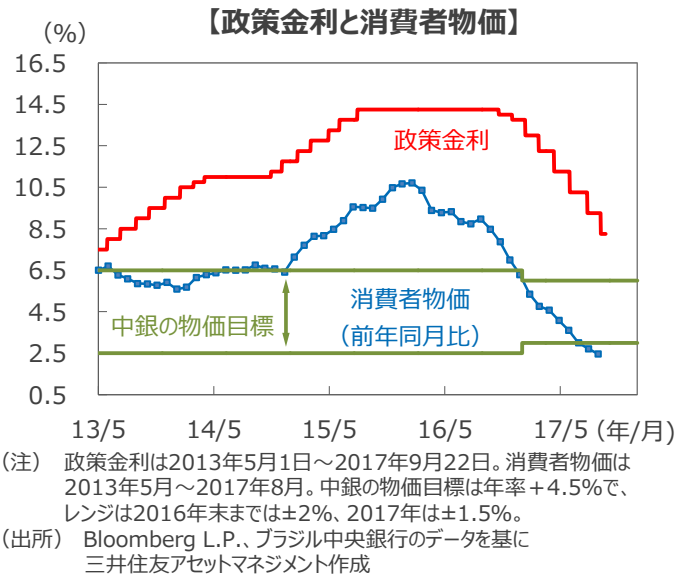
**ポイント1 GDPは2四半期連続プラス
前年同期比もプラス転換**

- 2017年4-6月期の実質GDP成長率は前期比+0.2%と、9四半期ぶりにプラスとなった1-3月期に続きプラス成長を確保しました。前年同期比でも+0.3%と、2014年1-3月期以来のプラス成長となりました。
- 需要項目別では、家計消費が前期比+1.4%、前年同期比+0.7%と堅調でした。インフレ率の低下や勤続期間補償基金 (FGTS) の引き出し開始が消費を押し上げたと見られます。
- GDPの約3分の2を占める消費が上向きに転じたことで、ブラジル経済は緩やかな回復が見込まれます。



**ポイント2 インフレ率は低下傾向
中央銀行は利下げを継続**

- インフレ率は低下傾向が続いています。8月の消費者物価は前年同月比+2.46%と、ブラジル中央銀行の物価目標レンジを下回っています。
- ブラジル中央銀行は、インフレ率が大きく低下するなか、16年10月以降利下げを続けています。9月の金融政策委員会では政策金利を8.25%に引き下げました。利下げ幅は累計で6%となり、力強さを欠くブラジル経済の回復を支えています。利下げはもうしばらく継続される見通しです。



今後の展開 株式、通貨は堅調推移

- ブラジルの金融・為替市場は、16年5月に発足したテメル政権の経済・財政改革と景気の改善期待を織り込む形で、16年以降堅調に推移してきました。足元でブラジル主要株式指数のボエスバは、9年ぶりの最高値を更新しました。通貨レアルも対ドルで底入れ後の戻り高値水準にあります。政治リスクはあるものの、景気回復や経済・財政改革の期待を背景に、今後もブラジルの株式や通貨は堅調地合いを維持しそうです。

ここもチェック! 2017年9月 7日 **ブラジルの金融政策 (2017年9月)**
2017年7月27日 **ブラジルの金融政策 (2017年7月)**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。